

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第234号	氏名	杉浦 正昭
学位審査委員	主査 丹羽 正美 副査 青木 克己 副査 山本 太郎		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、揮発性有機溶剤を含有するエアゾール殺虫剤による地球環境への負荷軽減のための効率的な使用方法確立のために、エアゾール殺虫剤の昆虫体内への侵入経路を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 チャバネゴキブリ雌成虫とピレスロイドを含有する殺虫エアゾールを用いた実験系を構築し、得られたデータを走査電顕とX線マイクロアナライザー統合システムを用いて解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、エアゾール殺虫剤の昆虫体内への侵入経路を明らかにし、今後の有害昆虫などの防疫研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は衛生医動物学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			